

認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターになろう！

認知症サポーター養成講座

問合せ 介護福祉課 ☎ (42) 8438 ・ FAX (43) 5600

認知症サポーターは、認知症について正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る応援者です。

全国で 65 歳以上の人の 7 人に 1 人が認知症であるといわれ、平成 37 年には 5 人に 1 人にまで増加すると予測されています。

認知症になっても笑顔で元気に暮らせるまちを目指し、みなさんも講座を受け、認知症サポーターになりましょう。

受講グループを募集しています

内 容	認知症の症状や認知症の人の対応、早期治療の重要性、家族への支援など ※「認知症って何だろう？ どんなことをしたら予防できるの？ 何か支援できることがあるの？」という点について詳しくお話しします。
対 象 と ころ	市内在住・在勤・在学の人で構成するグループ(おおむね 10 人以上) 地域の自治会館、集会所、公民館など ※会場予約手続きやその使用料の負担はグループでお願いします。
時 間	1 時間 30 分程度(アンケートの記入時間を含む)
申 込 み	開催予定日の 2 か月前までに介護福祉課へご連絡ください。 ※申込み時に日程や講座内容の詳細について、打合せを行います。

修了者は「認知症サポーター」に

市では、この講座を修了した人に、認知症サポーターの証である『オレンジリング(ブレスレット)』と『サポーター証』をお渡ししています。

市内では、これまでに 1,683 人が認知症サポーターとなっています(7 月 1 日現在)。

「認知症になっても笑顔で元気に暮らせるまち」を目指し、サポーターそれぞれが自分のできる範囲で(例えば、学んだ知識を友人や家族に伝える、認知症になった人や家族の気持ちを理解するよう努めるなど)活動しています。



▲オレンジリング

ロバ隊長のステッカーを贈呈

認知症サポーター養成講座を修了した認知症サポーターがいる事業所には、認知症サポーターキャラバンのマスコット「ロバ隊長」のステッカーを差し上げています(1 事業所 1 枚、登録制)。



8周年 ファミリー・サポート・センター会員募集

ファミリー・サポート・センターとは、「子育て中の人」と「子育てを手助けできる人」が、地域の子育てを相互に助け合う組織です。8年前にウェルス幸手内に設置され、当初は 101 人だった会員も、今では4倍以上の448 人に増え、平成27年度の利用件数は2,188 件になりました。

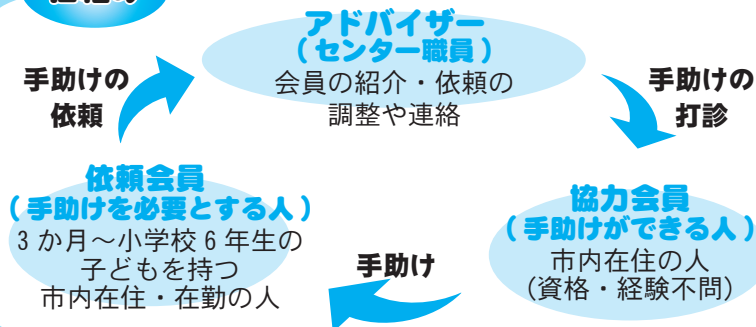
地域のつながりのきっかけに、また、子育て中の親も子どもも楽しく暮らせるよう、より多くの会員を募集しています。ぜひ、会員登録をお願いします。

登録方法などの詳細については、お問い合わせください。

問合せ ファミリー・サポート・センター(ウェルス幸手内) ☎・FAX (42) 8461



仕組み

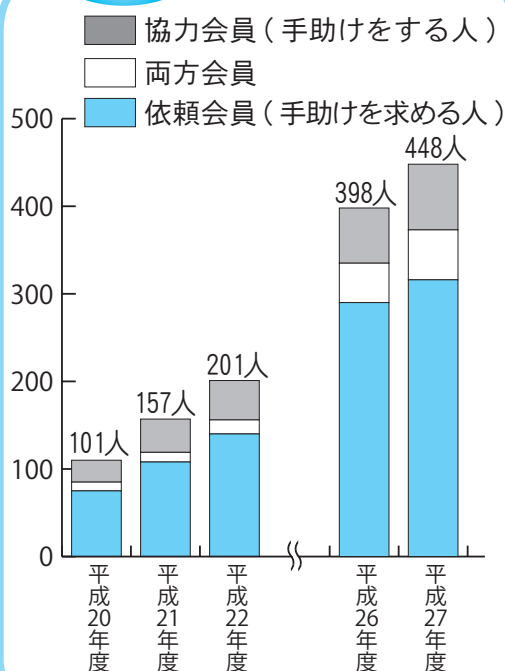


手助けする内容・料金

- ・保育施設の保育開始前や終了後の託児
- ・保育施設への子どもの送迎
- ・保護者の外出時の援助
- ・そのほか、会員の育児に必要な援助

区分	料金
月曜～金曜日 午前 7 時～午後 7 時	350 円／30 分
上記以外の時間帯 および年末年始	450 円／30 分

会員数



※人数は各年度末



利用者のみなさんからこんな声をいただきました！

依頼会員 A さん

子どももすっかり慣れて、甘えさせていただいています。
ファミサポのおかげで、気持ちにゆとりができました。

依頼会員 B さん

保育所から手助けしていただいています。
ファミサポのおかげで仕事が続けられました。

協力会員 C さん

わがママを言って甘えてくるのが可愛くて、
楽しく活動しています。

協力会員 D さん

始めて何年も経ち、今では本当の孫のようです。成長を見守ることで、
毎日の生活にも張合いが出ます。

両方会員 E さん

息子の保育園への送迎を依頼したり、ときには朝の託児などをお願いすることもあります。我が家の末っ子も、お兄ちゃん気分を満喫しているようです。

